

第119回 番組審議会 議事録

開催日時：2023年1月に郵送にて開催

- 1) 出席委員（総数7名：出席数7名）
- 2) 小島香代子／古井明子／本田敬士／大畑卓也／塚本明子／弓場美奈／近藤慎一

2) 審議番組の内容

番組タイトル Z Focus！（ゼット フォーカス）
パーソナリティ 野村雄飛（のむら ゆうひ）
放送日時 2022年12月22日（木）19時30分～20時00分
2022年12月25日（日）20時30分～21時00分（再放送）

番組概要

この番組はZ世代の野村雄飛が、
今Z世代の間でバズっている音楽やトレンドをご紹介します！
「TikTok」とも連動して多角的にお楽しみいただける番組を目指します！

3) 審議の内容

【小島委員】

私にとってはフレッシュな野村君、素直な気持ちを喋っている。
歌に関するしゃべりはすごく面白かった。基本的にポップに対する愛が溢れている。Z世代の日常生活の中での関心事が高速で語られていて面白い。
私たちの世代だと一曲をしっかりと鑑賞するのが通常と思っていたのですが、彼はスマホの画面をスクロールして情報を手に入れて、画面を変えていくのに似ていてこの手法はこれで今っぽいのかも。
最初のパクチーで喋りすぎたとはいえ、その後コントロールできるのは力量があると思われる。選曲もセンスがいい。
ただ、喋りの基本、しっかり単語の最後まで発音するとかは常に研鑽に務めて欲しい。

【古井委員】

Z世代の間でバズっているトレンドをピックアップして広い世代のリスナーに伝えるという企画に興味を持って拝聴しました。

こちらから若い世代の情報を取りに行くのは一定の労力が必要なので、ラジオから情報を得られるのは助かります。

選曲が季節（クリスマスシーズン）にあっていて、一曲の尺もたっぷりだったので、「もう少し先を聞きたかったのに!」というもどかしさを感じることなく楽しめました。

Twitter、TikTokとの連動もされているとのことでしたので拝見しました。

ラジオとSNS等の連動はリスナーと放送局双方にとってメリットが大きいと思いますので特に若い世代のリスナー獲得戦略のひとつとしてより進めて行かれる可能性もあるのではないかと感じました。

【本田委員】

クリスマス直前の放送という事で、クリスマス話題に特化しているのが良かった（選曲やスタバなど）。普段の放送でも、毎回テーマを決めてその話題に特化した30分にすればメリハリがあって良いと思います。

最初のパクチーのくだり、思ったより長く・密度の薄いトークになってしまったことは仕方がないとして、中盤でまた掘り返して「残りの時間計算が難しい」と発言してしまったのはリスナーにとって興味のない内部情報だし、現実に戻されるので、今後は言ってしまうぬようぐっところえてください。

音楽の間奏部分で、曲紹介をギュッと凝縮して話すのが巧みでよかったです。全てのラジオ番組に言える事ですが、曲前に紹介してしまうと、まだ聞いていないのに説明だけ言われて興味が湧かず引きが弱いし、最後に曲紹介をするとせっかく興味が湧いたところで曲が終わって淋しく感じてしまいます。

今回のように間奏で上手にプレゼンすれば、ラストサビにつなげられて気持ちが盛り上がるので、これは続けてください。

番組のターゲットはZ世代と思われませんが、Z世代以外も聞いていることを意識してZ世代の現状や考えを代弁するようなMCになってくれたらいいと思います。（クリスマスあるあるアンケート結果のくだり、良かったです）

【大畑委員】

パーソナリティの野村さんが、ハイテンションで楽しいトークを披露していただきました。パクチーに対する“愛”がとても伝わってきました。(Twitter もパクチーの写真に溢れていますね。) 放送時期がクリスマス前であったので、クリスマスのランキングを楽しく聞かせていただきました。竹内まりやさんの「すてきなホリデイ」が流れた時は、わたしも KFC の CM ソングを思い出しながらきかせていただきました。

全体的な選曲もクリスマスソングにあふれており、季節感があっていいと思いました。

野村さんのトークは、とても情報量の多いためか、少し早いと感じました。パクチーのトークが長引いてしまったので焦っていたのかもしれませんが。商品名を伝えたいときはゆっくり話されたり、反対にエピソードトークはさらにテンションを上げて話されるなど、番組内で話し方にメリハリが付けられるようになると、より番組が引き立つと感じました。

【塚本委員】

この語り方が Z 世代なるものか、Z 世代に向けた語りなのか、と感じた。

パクチー愛は十分伝わったが、語りはテンポ・語尾・諸々について気になった。自由に素のままトークしていて、パーソナリティの個性なのか、またこれが Z 世代の特徴・特権なのかと感じた。

幅広い世代のリスナー開拓に当たっては、Z 世代に向けた新しいタイプのパーソナリティとして存在意義を高めて欲しい。

【弓場委員】

- (1) 少し早口
- (2) 話し方（言葉遣いが少し気になった）
- (3) 滑舌（早口で喋るので、よく噛んでた）

上記の3つについては、ラジオ番組なので一番気を付けて欲しい部分です。番組を聞いていて、何言っているのか聞こえない部分があり、また何を伝えたいのか理解するのに難しかったです。

(4) 時間の配分

私が個人的に感じた意見ですが、最後まで聞きたかった曲をパーソナリティの都合でかなりおしているのここ切ると「ごめんね～」と簡単に発言していたのが少し気に入りませんでした。パクチーの話をしすぎて時間が押ししているなど、言い訳みたいなことをわざわざする必要がないと思いました。プロなのでそこは調整しながら自然に進行すべきだと感じました。

(5) トーク力

もう少し力を付けてから番組を任せの方が良いと感じました。明るく話すところはすごく良かったので、頑張ってください。また、この番組にターゲットはZ世代のだと思いますが、他の世代も聞いているかもしれないので、そこは意識してトークしていただいた方がいいと思います。

【近藤委員】

パクチーの話は、特別気になることはなく、雑談な感じでした。クリスマスあるあるの話は、Z世代というと、生まれた頃からすでにインターネットやデジタルデバイスが身近にあり、使いこなしているという表現という認識が私にはありますが、なにがZ世代の内容なのかがよく分からないトークの印象でした。曲紹介が多く、何かテーマがあるようにも感じませんでした。特にこれといった印象がありません。